

平成29年度 第2回宮代町健康増進計画及び食育推進計画策定運営委員会会議録

開 催 日 時	平成30年3月30日（金）午後1時30分～午後2時30分	
開 催 場 所	宮代町保健センター2階会議室	
出 席 者	委 員	山口委員長、吉田副委員長、鬼久保委員、大嶋委員、島村委員、内田委員、加藤委員、古谷委員、泰楽委員、重田委員、須藤委員、竹本委員
	事務局	小島健康介護課長、竹花保健センター所長、星野主幹、浜津主査、岡本主任保健師、山岸管理栄養士
欠 席 者	鈴木委員	
傍 聴 者	なし	
配 布 資 料	次第、健康増進計画及び食育推進計画策定運営委員会資料	
会 議 録 作 成 者	星野	

1. 開 会（進行：星野）

2. 議 事（進行：会長）

1) 平成29年度宮代町健康増進計画及び食育推進計画アンケート結果報告について
（事務局より成人に関するアンケート報告について説明）

－意見等－

委 員：マイレージの万歩計はどこで配っているのか。

事 務 局：申し込み方法が2つあり、書面で申し込む方法とパソコンから申し込む方法がある。マイレージの事務局から物自体は届く。申し込みは保健センターもしくは国民健康保険窓口で行っている。着払い494円で届くことになっている。

委 員：パソコンで申し込みするのが一番良いのか。

事 務 局：歩数計が欲しい場合、パソコンから申し込むと改めて保険証のコピーが必要となる。

窓口での申し込みであれば、その場で職員が保険証の確認をして申込書を事務局に送るので手間はかからない。

委 員：報告書51ページで40代以下の人の運動する機会が少ない。その年代の人は、仕事が忙しく運動する機会に恵まれない人、運動が嫌いな人が結構いると思う。宮代町は運動施設の体育館が久喜市に近いほうにあって、川端、宮東にはないので、そこまで行く交通手段がなく、もっと施設が利用しやすくなって遅い時間までもやっているような利用枠が広がるような取組ができな

いものか。運動に徹する機会を得るための手段が今一つない。

委員：人とのかかわりをもてる場所があるとよい。

委員：日本の糖尿病の数でいうと1千万人を超えたといわれている。日本糖尿病患者の数はマイカーの普及率と比例したといわれている。確かにコミュニティに参加することにより機会を得ることもあるが、通勤でもよいと思う。車に乗る機会を減らして自転車でくるか、買い物は歩いていくことでもよいと思う。お出かけする人のほうが長生きする。社会に参加することによっていろいろな刺激を受けていろんなことを考えて行動したいと思うのである。であるから身近なところから取り組むことが大事だと思う。

委員：地域密着の観点から高齢者のサロンの活用などが地域コミュニティに参加することが生きがいにつながる。

(事務局より成人以外に関するアンケート報告について説明)

—意見等—

委員：自殺のところで、「答えたくない」とは、自殺をしたいと思ったことがあるということではないか。

委員：野菜を食べないというのはどこも一緒である。99ページで甘いものが虫歯を作るといいますが、極端にいうと砂糖が子どもの虫歯を作る原因である。もし甘いものを子どもに与えるのだとしたら、果物などの果糖のものの方が、虫歯になりにくい。

委員：今回の会議で意見をまとめたほうがよいのか。

事務局：今年度実施したアンケート調査の結果をお知らせする会とさせていただければと思っている。来年度実際の計画の策定に取り組むこととなるので、調査結果を分析して課題がどこにあるのか、またその課題を解決するにはどういった取組をしたらよいのかを今後皆様からご意見をいただきながら計画を作っていくことになるので、今日のところは、こういった結果だにご理解いただければよろしいかと思う。また、来年度計画策定に向けて、コンサルによる町の健康づくりに関わっている各種団体の方々へのヒアリングをしてご意見をいただきたいと考えているので、その際にはご協力をいただきたい。